

両副知事、教育長は続投

「適材適所、ノーサイド」

杉本達治知事は23日の就任会見で、藤田穰、山田賢一両副知事と東村健治教育長を続投させる方針を明らかにし、西川前知事時代に任命された特別職の処遇が注目されていた。

杉本知事は会見で、藤田、山田両副知事について「適材

適所という意味で能力の高さをよく存じ上げているし、選挙戦を通じてノーサイドと申し上げてきた。一番いい人材というところで、お二人に引き続きよろしくお願ひしますと申し上げた」と述べた。東村教育長についても「よく存じ上げている。適材適所」と同様の考えを示した。

藤田氏は総務省出身で、杉本氏の後任として2016年6月に副知事に選任された。任期は20年6月16日まで。山田氏は17年7月、総務部長から副知事となった。任期は21年7月21日まで。東村氏は17年7月、任期を約1年残して退任した前教育長を継ぐ形で政策幹から教育長となり、現在2期目。任期は21年5月18日まで。

(大谷貴洋)